



青少年赤十字スタディー・センター

3月22日～26日、全国の青少年赤十字(JRC)の高校生メンバーを対象に山梨県で「青少年赤十字スタディー・センター」が開催され、兵庫県から2名が参加しました。スタディー・センターは、青少年赤十字の高校生リーダーを養成するため、リーダーに必要な知識や技術を具体的な学習やグループ活動を通して学ぶ宿泊型研修会です。

兵庫県立尼崎北高等学校の横井快翔さんの感想:「同じ目標を目指している仲間達と話し合うことで、自分とは違った視点からの意見を聞き、自分1人では気づけなかったことが多く、協力することがいかに重要かを学びました」

兵庫県立龍野北高等学校の猪澤ひかるさんの感想:「この研修を通して、沢山の自分の魅力に気づくことができ、『自分ってこんなにすごいんだ!』と、明るく前向きな自分に変わることができました」お二人の地域での活躍に期待しています。



猪澤さん



前列右端が横井さん



集合写真



赤十字とつながる“人”シリーズ

第1回

赤十字活動指導講師/赤十字防災ボランティア・リーダー/兵庫県青少年赤十字賛助奉仕団員 中島健治さん

ボランティアの心

私と赤十字の関わりは、私が通っていた伊丹市立南中学校が全校加盟であったことから始まる。高等学校にはJRC(青少年赤十字)部がなく、先輩が同好会を作るのに3年生の名前がほしいというので名前を貸しただけで活動には参加していない。

大学に入り、授業が面白くないので、高校の放送部室に入り浸っていて、放送部の先輩が「いいところありますよ」と教えてくれたのが、テープライブラリーと呼ばれていた現在の「兵庫県声の図書赤十字奉仕団」でした。すぐに入団させていただき、これが赤十字でのボランティア活動のスタートです。活動は、吹き込まれたテープの編集や月刊テープの作成等が中心の図書館業務で、アナウンスの練習もしたものの、鼻濁音ができなかったため、残念ながら私の音声は残っていません。しかしこの時の経験が、後に教員になってからの範読に役に立ちました。当時は振り返ってみると、活動場所は学生の溜まり場でいつも多くの人っていて、活動以外のさまざまな話をすることで、現在までの人生において支えになったことが数多くありました。

教師になったため、毎週支部に行くことが難しくなり、この活動からは遠ざかってしまいましたが、赤十字との関わりは青少年赤十字指導者と形を変えて続いていき、教員生活36年の間に、青少年赤十字指導者研修や防災ボランティア・リーダー研修等、様々な本社研修に参加させていただきました。

「なぜボランティア活動をするの」とよく訊かれます。その時いつも答えるのは「ボランティアは自分のために行います。」「18才で始めてから、「誰かのために」と考えたことは1度もありません。近年さまざまな機会に申しあげるの、自戒を込めて、「赤十字に何かをしてほしいと求めるのでなく、あなたが赤十字に何かができるのかを考えてください。」ということ。何ら見返りを求めなかったアンリ・デュナン生き方を見習いたいと思います。



5月12日(土) 10:00～14:30 (オープニングイベント 9:30～)

姫路赤十字病院『2018 病院フェスタ』

体験コーナーやパフォーマンスショーなど、大人も子供も楽しめます! たくさんの方のご来場をお待ちしています。

5月20日(日) 10:00～13:00

多可赤十字病院『第4回病院フェスタ』

テーマ:多可日赤を見に行こう!

手術室や避難所の体験コーナーや、健康相談コーナーなどもあります。ぜひお越しください。

5月20日(日)

神戸まつり「おまつりパレード」に出場します

赤十字運動月間(5月)のPR活動の一環として、今年も神戸まつり「おまつりパレード」に出場します。兵庫県支部の行進時間は13:30～14:00頃を予定しています。

救急法ミニ講習

5月26日(土) 11:00～15:00 イオン明石ショッピングセンター(明石市)

5月27日(日) 11:00～15:00 かつぎプラザ シーパ(南あわじ市)



講習のご案内

赤十字基礎講習 (1日の講習)	6月16日(土) 13:00～17:30 7月21日(土) 13:00～17:30
救急法基礎・救急員養成講習 (3日間の講習)	6月17日(日)・23日(土)・24日(日) 9:30～17:30(初日は13:00～17:30) 7月22日(日)・28日(土)・29日(日) 9:30～17:30(初日は13:00～17:30)
水上安全法救助員I養成講習 (4日間の講習)	7月8日(日) 基礎 9:00～14:30 養成 15:00～17:00 7月14日(土)・15日(日)・16日(月・祝) 9:00～17:00(最終日は 9:00～14:00) 場所:1日目 日本赤十字社兵庫県支部 2日目～4日目 日本赤十字社兵庫県支部災害救護支援センター(兵庫県三木市) (兵庫県広域防災センター内)
幼児安全法支援員養成講習 (2日間の講習)	8月4日(土)・5日(日) 9:30～17:30
健康生活支援講習支援員養成講習 (2日間の講習)	7月14日(土)・15日(日) 9:30～17:10(初日は 9:30～16:30)

※申込期日は開催日(初日)の1ヵ月前までです。

■科目別講習(講習の一部のテーマを短時間で習得できます)

健康生活支援講習	地域で支える認知症	6月10日(日)9:30～11:30
----------	-----------	--------------------

お問い合わせは、お電話またはホームページで

Tel.078-241-1499

※今月号より、隔月(奇数月)の発行となります。



〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号 TEL.078-241-9889 FAX.078-241-6990

赤十字 兵庫 検索 <http://www.hyogo.jrc.or.jp/>

ひょうごの赤十字 5月号 [2018年(平成30年)5月1日発行]



5月20日(日)

神戸まつり「おまつりパレード」に出場します

赤十字運動月間(5月)のPR活動の一環として、今年も神戸まつり「おまつりパレード」に出場します。兵庫県支部の行進時間は13:30～14:00頃を予定しています。

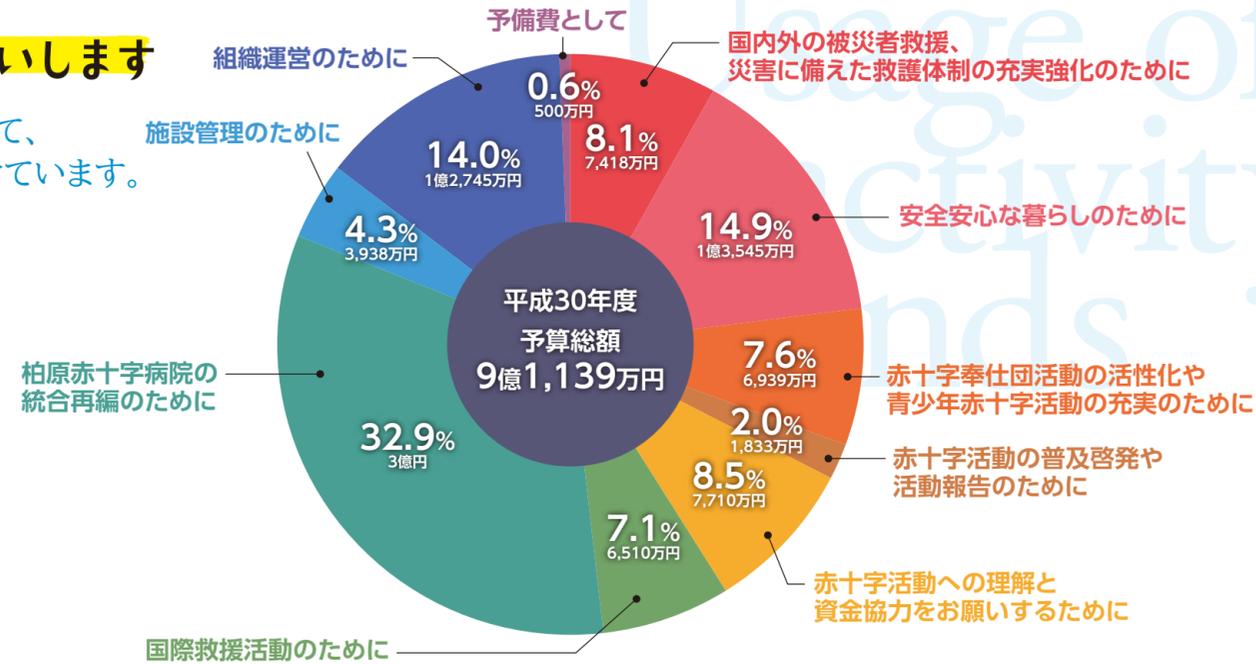
5月は赤十字運動月間 活動資金にご協力をお願いします

日本赤十字社では、赤十字が誕生した5月を「赤十字運動月間」として、広く皆さまに赤十字活動への参加と活動資金へのご協力を呼びかけています。

兵庫県支部では、将来の広域大規模災害などに備え、阪神・淡路大震災の経験や教訓を生かした全国各地の被災地に対する支援や全国からの受援の拠点となる災害救護支援センターを昨年4月に三木市の兵庫県広域防災センターの敷地内に開設したほか、県民の皆様の安全安心な暮らしに寄与するため、警察施設などへ救急箱やAED(自動体外式除細動器)の設置をはじめ、救急法などの講習会の開催などを通じて、いのちと健康を守る活動にも取り組んでいます。

これらの「いのちと健康を守る」赤十字活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金によって支えられています。

運動月間中は、皆さまの地域の赤十字奉仕団や自治会、婦人会などを通じて、活動資金へのご協力をお願いします。「人道」を基本理念とする赤十字事業を支える活動資金のご協力をお願いいたします。



日本赤十字社兵庫県支部の活動

日本赤十字社兵庫県支部は、各都道府県に組織されている日本赤十字社の支部のひとつとして、県民の皆様に支えられながら、身近なところで様々な活動を行っています。

国内災害救護活動

災害や大事故などが発生した際、いち早く医療救護活動を行うために、救護班を派遣するとともに、被災された方々のこころのケアを行う他、救援物資の配付や義援金の募集などの支援活動も行います。

兵庫県支部では、県内4つの赤十字病院に、医師や看護師を中心に編成された医療救護班15班を準備し、ただちに被災地で救護活動を行えるよう体制を整えています。また、訓練や研修会などを通じて、いつ起こるかかわからない災害に備え、救護活動の一層のレベルアップに取り組んでいます。

国際活動

紛争や自然災害、病気などで苦しむ世界中の人々を救うため、191の国と地域に広がる赤十字のネットワークを生かし、緊急救援や復興支援、病気予防などの活動に取り組んでいます。

兵庫県支部からも、バングラデシュ避難民支援事業やフィリピン共和国における保健衛生事業等へ、国際救援・開発協力要員を派遣しています。

青少年赤十字(JRC)

幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校などの教育現場で、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」を実践目標として、子どもたちが自分で「気づき、考え、実行する」力を育てています。

赤十字ボランティア

地域に根ざした活動をする地域赤十字奉仕団、特定のスキルを生かした特殊赤十字奉仕団、若者を中心とした青年赤十字奉仕団、さらには赤十字防災ボランティアの皆さんがボランティアとして赤十字活動を支えています。

神戸青年赤十字奉仕団では、青少年の国際交流事業において語学ボランティアとして活躍したほか、フィリピン赤十字社主催の全国ユース会議へ参加するなど、国際活動にも取り組んでいます。

救急法などの講習

とっさの手当てや自動体外式除細動器(AED)の使い方、高齢者支援に役立つ介護技術、子どもの事故防止と手当てなど、身近な人を救うための知識や技術を身につけていただく講習を行っています。

あなたのご寄付でできること

全国の医療救護班が迅速に駆けつけられるために!

災害時に備え、赤十字病院の医師や看護師を中心に編成された救護班を全国で約500班(約7,700人)編成。災害が発生すると、すぐ救護班や全国に20ユニット配備しているdERU(国内型緊急対応ユニット)などを派遣します。



dERU整備費
(テント・トラック含む1ユニット)
2,300万円



救護班約500班
(約7,700人)

大きな災害に備え、救援物資のさらなる充実を!

日本赤十字社は災害発生後、救援物資をすぐ被災者に届けられるよう、日ごろからたくさんの毛布や安眠セット、緊急セットを備蓄しています。



安眠セット(1人分)
2,000円



緊急セット(1世帯4人分)
3,000円



災害時用毛布(1人分)
1,300円

いのちと健康を守る赤十字活動は
皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています。
活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます
口座記号番号:01110-0-1136
口座加入者名:日本赤十字社兵庫県支部
※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。